

對支防疫事業興學院秘書類目錄

H-0250

0198

	發信用	執務用	
主信	1	1	2
附屬	甲		
	乙		
	丙		
	丁		
備考	62		

14.1.20

公 信 案

指示監督ヲ受ケラレタク此段申進ス

別紙指令書雜型ニ依リ指令書作成大臣印

押捺ノ上送付送ノコト

外 務 省

文書課長

文書課發給 昭和十四年壹月拾八日發送済

主 管 文化事業部

主 任 第一課長

機密 第一〇五 號

昭和十四年壹月拾八日 日附 附周

淨書 正校(原稿) (淨書)

昭和十四年一月十日起草

發 信 人 臨時對支防疫事業部

名 人 宮川 米次

發 信 人 澤田 外務次官

記 録 名 件

件 對支防疫事業ニ關スル事務興亞院移管ニ關スル件

外務省所管ノ對支防疫事業ニ關スル事務ハ興亞院へ移管スルコトト

相成タルニ付テハ別紙指令書ニ對スル請書御提出ノ上爾今興亞院ノ

公 信 案

外 務 省

18 10

文化 14.1.19 事業部

H-0250

0199

次官

昭和十四年一月十日起案
昭和十四年一月十七日決裁

會計課長印

文化

第一課長

臨時對支防疫事業部與亞院移管ニ關スル件
客年十二月十六日閣議決定ニ依リ對支防疫事業ハ與亞院所管トナリタルニ付テハ別紙指令書ニ依リ臨時對支防疫事業部ヲ與亞院へ移管スルコトト致度シ
右仰高裁

14.1.20

次官

文化 1117 事業部

(日本標準規格B5)

外務省

指令第 四 號

昭和拾四年壹月拾八日發送済

臨時對支防疫事業部代表者

宮川 米次

第一條 其ノ事業部ノ事業ニ關シ本指令交付後昭和十三年七月十四日附指令第四六號指令書ニ準シ與亞院總裁男爵平沼騏一郎ノ指示ヲ受クヘシ

昭和十四年一月十八日
昭和拾四年壹月拾八日

外務大臣 有田 八郎

(日本標準規格B5)

18 11

H-0250

0200

發信用	執務用
主信	27
附	甲
	乙
	丙
	丁
備考	68

14.1.20

東亞局長



文書課長

文書課發送 昭和拾四年壹月拾八日發送済

主 文化連係部 任 第一課長

文化一機密令第一五〇號 昭和拾四年壹月拾八日 日附附屬

正校(原稿) 昭和十四年一月十日起草

受 信 人 名 在北京 堀内 參事官 外 在 支 各 公 館 長 宛 各 通

發 信 人 名 有 田 大 臣

件 名 對支防疫事業ニ關スル事務與亞院引繼ニ關スル件

外務省文化事業部所管事務與亞院移管ニ關シテハ客年十二月二十七日附文化一機密第一七三五號公信ヲ以テ申進ノ通ナル處右ノ中對支防疫事業ニ關スル事務ハ昭和十四年一月十七日興亞院へ引繼キタル

(19.2.4)

ニ付今後本件ニ關スル事項ハ興亞院現地機關ニ於テ處理スヘキモノト御了知ノ上各防疫班ヲシテ直接興亞院現地機關ト連絡セシムル様可然御取計相成度興亞院現地機關ノ設ケキレ居ラサル地ニ於テハ本件處理方ニ關シ同仁會臨時對支防疫事業部本部ノ指示ヲ受ケル様可然御未達相成度此段申進ス

本信宛先 在支各公館長

公 信 案

外 務 省



寫 

臨防疫第三三號

昭和十四年一月二十一日

臨時對支防疫事業部

代表者 宮川米次

外務次官 澤田廉三 殿

對支防疫事業ニ關スル事務興亞院移管ニ關スル件

本件ニ關シ一月十八日附文化一機密第一〇五號貴信ヲ以テ御示指相
成敬承、仍而右ニ對シ別紙ノ通請書御提出申進ス

Handwritten notes in the right margin, including the date 1/27 and other illegible characters.

外務省

(日本標準規格B5)

H-0250

0204

機密

寫

文化一機密第一〇五號

昭和十四年一月十八日

外務大臣次官 澤田 廉三

臨時對支防疫事業部
宮 川 米 次 殿

對支防疫事業ニ關スル事務與亞院移管ニ關スル件
外務省所管ノ對支防疫事業ニ關スル事務ハ興亞院へ移管スルコトト
相成タルニ付テハ別紙指令書ニ對スル請書御提出ノ上爾今興亞院ノ
指示監督ヲ當ケラレタク此段申進ス

別紙添附

外務省

(日本標準規格B5)

H-0250

0205

寫

覽見

第一課

昭和十三年十二月十九日

キロク

對支防疫事業ニ關スル事務與亞院移管
處理方針

一 電信及公信ハ左記ノ通り處理ス

(イ) 本省ト在外公館及臺灣總督府間往復ノ電信ハ保留ス

但シ今後ノ事務處理ノ上ニ必要ト認メラルモノハ「パラフレ
ーズ」^セル寫作製移管ス（寫作製ハ出來得ル限り限定スルモノ
トス）

(ロ) 本省ト在外公館及臺灣總督府トノ往復公信ハ保留ス

但シ今後ノ事務處理ノ上ニ必要ト認メラルモノハ寫作製移管ス
（寫作製ハ出來得ル限り限定スルモノトス）

要再回

外務省

(日本標準規格B5)

- (ハ) 本省ト在外公館以外ノ各機關トノ間ノ往復公信中今後ノ事務處
理ノ上ニ必要ト認メラルモノハ移管ス
- ニ 調書及各報告書ハ移管ス
- 三 防疫部及防疫班員ノ身分ニ關スル書類ハ移管ス
- 四 防疫部及防疫班員中現ニ外務省囑託タルモノハ之ヲ解囑シ同日附
ヲ以テ與亞院事務ヲ囑託スル様措置スルモノトス
- 五 經理關係書類ハ別ニ考慮スルモノトス

外務省

(日本標準規格B5)

H-0250

0206

昭和十三年十二月十九日

對支防疫事業ニ關スル事務與亞院移管
處理方針

- 一 電信及公債ハ左記ノ通り處理ス
- （イ）本省ト在外公館及臺灣總督府間往復ノ電信ハ保留ス
但シ今後ノ事務處理ノ上ニ必要ト認メラルモノハ「パラフレ
ーズ」セル寫作製移管ス（寫作製ハ出來得ル限り限定スルモノ
トス）
- （ロ）本省ト在外公館及臺灣總督府トノ往復公債ハ保留ス
但シ今後ノ事務處理ノ上ニ必要ト認メラルモノハ寫作製移管ス
（寫作製ハ出來得ル限り限定スルモノトス）
- （ハ）本省ト在外公館以外ノ各機關トノ間ノ往復公債中今後ノ事務處

（日本標準規格B5）

外務省

- 理ノ上ニ必要ト認メラルモノハ移管ス
- 二 調書及各報告書ハ移管ス
- 三 防疫部及防疫班員ノ身分ニ關スル書類ハ移管ス
- 四 防疫部及防疫班員中現ニ外務省囑託タルモノハ之ヲ解囑シ同日附
ヲ以テ與亞院事務ヲ囑託スル様措置スルモノトス
- 五 經理關係書類ハ別ニ考慮スルモノトス

（日本標準規格B5）

外務省

H-0250

0207

昭和十三年十二月十九日

對支防疫事業ニ關スル事務與亞院移管
處理方針

- 一、電信及公信ハ左記ノ通り處理ス
- (イ)本省ト在外公館及臺灣總督府間往復ノ電信ハ保留ス
但シ今後ノ事務處理ノ上ニ必要ト認メラルモノハ「バラフレ
ーズ」セル寫作製移管ス（寫作製ハ出來得ル限り限定スルモノ
トス）
- (ロ)本省ト在外公館及臺灣總督府トノ往復公信ハ保留ス
但シ今後ノ事務處理ノ上ニ必要ト認メラルモノハ寫作製移管ス
（寫作製ハ出來得ル限り限定スルモノトス）
- (ハ)本省ト在外公館以外ノ各機關トノ間ノ往復公信中今後ノ事務處

(日本標準規格B5)

外務省

- 理ノ上ニ必要ト認メラルモノハ移管ス
- 二、調書及各報告書ハ移管ス
- 三、防疫部及防疫班員ノ身分ニ關スル書類ハ移管ス
- 四、防疫部及防疫班員中現ニ外務省囑託タルモノハ之ヲ解囑シ同日附
ヲ以テ興亞院事務ヲ囑託スル様措置スルモノトス
- 五、經理關係書類ハ別ニ考慮スルモノトス

(日本標準規格B5)

外務省

H-0250

0208

三人員
 昭和十三年十二月十五日現在ノ總人員官川等外博士外二百九名ニシテ北支防疫班ハ高木逸磨博士外八十三名中支防疫班ハ谷口映二博士外百二十三名、尚更ニ詳細ニ記スレハ左表ノ如シ

北支防疫班編成表 昭和十三年十二月十五日

任地	北京	天津	塘沽	芝罘	青島	濟南	徐州	新郷	石家莊	太原	合計
地醫員	五	一	二	二	六	三	一	五	二	二	三九
調劑員	二	一								(兼) 一	四
技師員	八	(助) 一								(兼) 一	一三
事務員	一										一〇
看護婦	五	四			三	四			二		一八
其他	八	一			二		一				一二
合計	三六	八	二	二	一二	九	三	五	四	五	八六

備考
 一、其他トアルハ雇員臨時雇傭人等トス



中支防疫班編成表 昭和十二年十二月十五日現在

仕 地	上 海	附 京	合 計
醫員	一四	八	二二
測劑員	四	二	六
技師員	(助)一四 七	八	二九
事務員	五	二	八
看護婦	一七	十	二七
其他	二三	七	三〇
合計	八六	三八	一二四

備考
一、其他トアレハ職員臨時雇備人等トス

戦争概況

昭和十二年末ヨリ同十三年六月迄ハ主トシテ調査及準備ニ着手シ
同年七月防疫班ヲ北支及中支ニ派遣シ夏期ハ主トシテ「コレラ」

及「チフス」赤痢等ノ防疫及治療ニ従事シ兼ネテ北京ニ於テ防疫
薬品ノ製造ヲ爲シ冬期ニ至リテ是ニ「ベスト」隊助共ノ他ニ従事
スルト共ニ北京及上海ニ防疫研究所設立ノ目的ニ因ツテ事業ヲ進
行セシメツツアリ



指令第 號

指 令 書

臨時對支防疫事業部代表者

官 川 米 次

第一條 其ノ事業部ノ事業ニ關シ本指令交付後昭和十三年七月十四日附指令第四六號指令書ニ準シ興亞院總裁男爵平沼騏一郎ノ指示ヲ受クヘシ

昭和十四年一月 日

外務大臣 有 田 八 郎

外務省

(日本標準規格B5)

H-0250

0213

寫

昭和十四年一月

對支防疫事業本部ニ對スル指令書寫

外務省文化事業部

(日本標準規格B5)

外務省

指令書

臨時對支防疫事業部

代表者 田邊文四郎

第一條 今次事變ニ依ル支那各方面ニ於ケル防疫事業助成ノ爲メ金拾萬圓也ヲ昭和十二年度ニ於テ交付ス

第二條 本交付金ノ收支ハ出納簿ニ記帳シ證憑書其ノ他收支ノ事實ヲ證明スル一切ノ書類ヲ整理保存シ置クヘシ

第三條 本事業ニ對スル收支計算書並ニ事業概況報告書ハ年度終了后遲滞ナク提出スルヲ要ス

第四條 本交付金ヲ以テ購入シタル物品ノ保管及處分ニ關シテ別ニ指示スヘキニ付備品ニ關シテハ臺帳ヲ作成シ品目數量及其ノ所在ヲ明カナラシメ置クヘシ

第五條 本大臣ハ官吏等ヲ派遣シ經理ニ關スル検査ヲ爲サシムルコ

(日本標準規格B5)

外務省

H-0250

0214

トアルヘシ

第六條 本事業ノ目的ヲ達シ納ハスト認ムル時ハ事業ヲ中止セシメ
既ニ交付シタル助成金ノ返納ヲ命スルコトアルヘシ

昭和十三年三月二十日

外務大臣 廣田 弘毅

外務省

(日本標準規格B5)

H-0250

0215

寫

指令第四六號

指 令

誓

臨時對支防疫事業部代表者

官 川 米 次

第一條 其ノ事業部ノ支那ニ於ケル防疫事業助成ノ爲昭和十三年度

ニ於テ第一回分トシテ金貳拾五萬圓也ヲ交付スヘシ

第二回以後ノ助成金交付ヲ爲スコトアル場合ニハ本指令誓ノ條項

ニ依リ之ヲ處置スヘシ

第二條 本事業ノ實施ニ關シ主要ナル事項ハ本大臣ノ指示ニ從フヘ

シ

第三條 本事業ノ實施ニ際シテハ豫メ實施計畫ヲ具シテ本大臣ノ承

認ヲ受クヘシ實施計畫ヲ變更スルトキモ亦同シ

第四條 本交付金ノ收支ハ之ヲ出納簿ニ記載シ其ノ收支ヲ明ニスヘ

シ

(日本標準規格B5)

外 務 省

物品ノ受拂ニ付テモ亦帳簿ニ記入シ嚴重ニ保管スヘシ

領收書其ノ他收支ノ事實ヲ證明スル一切ノ書類ハ指令ニ依リ何時

ニテモ提出シ得ル様整理保存シ置クヘシ

第五條 年度経過後一ヶ月以内ニ收支計算書並ニ事業進捗状況報告

書ヲ附呈シ各二週宛提出スヘシ

第六條 本交付金ヲ以テ購入設備シタル物件ノ處分ニ關シテハ本大

臣ノ指示ヲ受クヘシ

第七條 本大臣ハ官吏其ノ他適當ト認ムル者ヲ派遣シ收支計算及事

業ノ實施ヲ監督セシムルコトアルヘシ

第八條 本事業ニ關シ其ノ目的ヲ達成シ得サルモノト認ムルトキハ

本交付金ノ全部又ハ一部ヲ返納セシムルコトアルヘシ

昭和十三年七月十四日

外務大臣 宇 垣 一 成

(日本標準規格B5)

外 務 省

H-0250

0216

寫

指令第五一號

追加指令書

臨時對支防疫事業部代表者

宮川米次

昭和十三年七月十四日附指令第四六號ニ左ノ通追加ス

第一條ノ二 昭和十三年度助成金第二回分トシテ金八萬圓ヲ交付ス

ヘシ

昭和十三年七月廿七日

外務大臣 宇垣一成

寫

指令第六〇號

追加指令書

臨時對支防疫事業部代表者

宮川米次

昭和十三年七月十四日附指令第四六號ニ左ノ通追加ス

第一條ノ三 昭和十三年度助成金第三回分トシテ金四拾萬圓也ヲ交

付スヘシ

昭和十三年九月十四日

外務大臣 宇垣一成

外務省

(日本標準規格B5)

外務省

(日本標準規格B5)

H-0250

0217

寫

命令第八九號

命 令 書

臨時對支防疫事業部

代表者 宮 川 米 次

第一條 其ノ事業部ノ支那ニ於ケル防疫事業補助ノ爲昭和十三年度

ニ於テ金七拾七萬圓也ヲ數回ニ分チ交付スヘシ

第二條 本補助金ハ昭和十三年七月十四日附指令第四六號ヲ以テ交
付セル助成金ト共ニ該條項ニ基キ整理スヘシ

昭和十三年十月二十七日

外務大臣 公爵 近 衛 文 麿

外 務 省

(日本標準規格B5)

H-0250

0218

寫

洞川院ニ移付スル

番號	摘要	年	月	日	備考
1	國際聯盟ノ對支防疫事業計畫	十二	十月	二十一日	
2	對支防疫事業實施案	"	"	二十八日	
3	北支防疫事業ニ就テ	"	"	二十九日	
4	對支防疫調查團派遣ニ關スル件	"	十一月	十一日	
5	北支衛生開發ニ關スル意見	"	"	二十八日	
6	對支防疫救護班派遣ニ關スル調查報告	"	十二月	十七日	
7	北支防疫事業根本方針ニ就テ	十三年	三月	二十三日	
8	對支防疫事業實施方法ノ件	"	"	二十九日	
9	對支防疫事業方針	"	"	二十九日	
10	北支防疫機關設立ニ就テ	"	"	二十九日	
11	臨時防疫研究所設置費豫算説明書	"	"	二十九日	
12	臨時對支防疫事業部規定	"	"	二十九日	
13	臨時中支防疫本部事業	"	五月	二十七日	

(日本標準規格B5)

外務省

14	防疫班員給與要領	十三年	五月	二十七日	
15	北支並中支防疫部員動靜	"	六月	二十四日	
16	中支防疫部部員名簿	"	七月	十五日	
17	支那派遣同仁會第四診療兼防疫班名簿	"	六月	二十九日	
18	今次事業ノ影響之ニ對スル措置並施設ノ概要	"	八月		
19	對支防疫事業部經費	"	"	六日	
20	支那ニ於ケル防疫事業計畫ニ關スル資料	"	"		
21	中央防疫處	"	"		
22	對支防疫事業概要	"	九月	一日	
23	協定事項	"	"	二十一日	
24	給與規定中改正ノ件	"	"	二十七日	
25		"	"		

(日本標準規格B5)

外務省

H-0250

0219

中支防疫班報告

番号	摘要	年月日	備考
1	中支同仁會防疫本部事業開設經過報告	十三年八月	中支本部
2	九江移動防疫班派遣顛末報告	九月	南京支部
3	南通縣ニ於ケル「コレラ」防疫並診療ニ關スル報告		中支本部
4	無錫ニ於ケル「コレラ」移動防疫並診療ニ關スル報告	十月	上海支部
5	杭州及王店ニ於ケル「コレラ」防疫並診療ニ關スル報告		中支本部
6	第二回杭州移動防疫並診療ニ關スル報告		
7	第三回		

外務省

(日本標準規格B5)

H-0250

0220

昭和十三年自七月至十月

防疫業務月報

自第一號
至第四號

中支防疫班
上海支部

外務省

(日本標準規格B5)

昭和十三年自七月十日至十月三十一日

業務報告

自第一回
至第五回

中支防疫班
南京支部

外務省

(日本標準規格B5)

H-0250

0221

外務省

臨時對支防疫事業部

防疫事務月報
自第一號
至第九號

昭和十三年自三月至十一月

(日本標準規格B5)

外務省

對支防疫班事務日記
自第一號
至第七號

昭和十三年自六月至十月

(日本標準規格B5)

H-0250

0222

外務省

臨時對支防疫事業部職員名簿及履歷書綴

(日本標準規格B5)

外務省

昭和十三年自七月至九月中旬

北支防疫班業務報告

自第一報
至第七報

北支防疫班本部

(日本標準規格B5)

H-0250

0223

發信用執務用	
主信	1
附	
甲	
乙	
丙	
丁	
備考	1/1

14.1.24

一月十日附	臨時疫中ニ四七號
一月十日附	臨時疫中ニ四二號
一月四日附	臨時疫中ニ四〇號
一月四日附	臨時疫中ニ三九號
十二月二十四日附	臨時疫中ニ二〇號
十二月二十六日附	臨時疫中ニ一二號
十二月二十一日附	臨時疫中ニ〇七號

公 信 案 外 務 省

文書課發送 昭和拾四年壹月廿壹日發送済

主 任 第一課長 原

文化 普通書 第二四號 昭和拾四年壹月廿壹日 附屬 有

受 信 人 柳川興亞院總務長官

件 名 好支所疫事業之圖ニ移牒ノ件

記 本件之圖ニ左記書類別紙トシテ移牒ニ 御査取相成度

十二月十日附 臨時疫中一九〇號

外 務 省

名件録記 名人信發 澤田外務次官

淨書 正校(原稿) 〇(淨書)

昭和十四年一月二十日 日附 附屬 有

文書課長

別紙

21 19

文化 12 事業部

H-0250

0224

部

文化
H. 1.25
事業部

秘

二
可
之
号

即
三
原
院
一
簿
送
付
し
ま
す

文化事業部
臨時防疫第三三三號

第一課二
五

昭和十四年一月二十一日

臨時對支防疫事業部

代表者 宮川 米

外務次官 澤田 廉三 殿



對支防疫事業ニ關スル事務與亞院移管ニ關スル件

本件ニ關シ一月十八日附文化一機密第一〇五號貴信ヲ以テ御示指相成
敬承、仍而右ニ對シ別紙ノ通請書御提出申進ス

ケ
ル

同
仁
會

柳
山

二
五
は

H-0250

0227

參
考
寫

有 田 外 務 大 臣

北 京 十 一 月 十 八 日 發

堀 内 參 事 官

北支防疫班長高木博士ヨリ左ノ願出アリタルカ右ハ至極尤ト認メラ
ルルニ付御配慮ノ上何分ノ儀御回電ヲ請フ
防疫班ハ軍側ヨリ馬百頭（更ニ百頭追加ノ筈）ノ無償交附ヲ受ケ治
療用血清ヲ作製シ又炭疽病其ノ他豫防用及診斷用劑作製ノ爲相當額
ヲ絶體ニ必要トスル處右ニ關シ同仁會本部ヨリ直接本省へ申請ノ筈
ナルモ本件事業ハ當地軍側及支那側ニ於テ多大ノ期待ヲ有シ居ルニ
付右經費増額支出方特別ノ御詮議ヲ請フ

外 務 省

(日本標準規格B5)

寫

有 田 外 務 大 臣

北 京 一 月 廿 一 日

文 化 、 亞

秋 山 書 記 官

客 年 往 電 ニ 關 シ

防疫班ニ於テハ其ノ後着々作業ヲ進メ居リ本件經費増額約十萬圓ノ
支出ハ絶對的ニ必要ニシテ若シ支出困難ナルニ於テハ今後事業遂行
上支障アルニ付御詮議ノ結果何分ノ儀至急御回電ヲ請フ（了）

外 務 省

(日本標準規格B5)

H-0250

0229

發信用 執務用			
主信	/	×	/
附屬	甲		
	乙		
	丙		
	丁		
備考	62		



公文案 別紙字身傳送付、ニ 外務省	受信人 柳川 興、五段總務長官	件名 附設委員會議案ノ件	主 文化事業部長了 第一課長	文 普通 第七五號 昭和十四年貳月七日 日附附屬	文書課發送 昭和拾四年貳月 七日發送済 淨書 正校(原稿) 昭和十四年二月六日起草
在漢口花輪總領事ヨリ別紙字、通函ヲリ 付、各細書ニ付、了ル 付、此段轉送、可取御取計相度、此旨、了ス		名件録記 澤田 次官			

文書課長 

 別紙 





(19.2 4) 7 13

H-0250

0230

第一課ノ二

Handwritten notes and signatures on the right margin.

漢和 三二〇四 略 漢口 二月四日 華發 本省 四日 華奉 支那、事

有 田外務大臣 花輪總領事

第七〇號

電信寫

Handwritten notes at the top of the page, including '要文' and '此中'.

今般武昌ニ於ケル防疫ノ爲軍民ヲ一丸トシタル防疫委員會ヲ組織シ
市内ノ清掃、清潔法ノ實施、蔭保有者ノ檢査、豫防注射、船舶ノ檢
疫、防疫材料及消毒材料ノ準備等防疫ニ關スル徹底的措置ヲ講スル
コトトナリタルニ付テハ支那側及在留民側ノ防疫措置トシテ同仁會
診療班及防疫班ヲ當地ニ進出セシメサルニ於テハ實行不可能ナルニ
付至急右派遣方御配慮相成度シ
尙任用家屋トシテ從來物色中ナリシモ軍側ニ於テ夫々斡旋シ吳ルル

コトトナリ居リ右與亞院及同仁會ニ御傳書ノ上實現方御配慮ヲ請フ
止海ハ取替セリ
上海ヨリ杭州ハ電報アリタシ

H-0250

0231

寫

漢口 二月四日發

有田外務大臣

花輪總領事

今般武昌ニ於ケル防疫ノ爲軍民ヲ一丸トシタル防疫委員會ヲ組織シ
清潔法ノ實施、市内ノ清掃、豫防注射、菌保有者ノ檢索、船舶ノ檢
疫、消毒材料及防疫材料ノ準備等防疫ニ關スル徹底的措置ヲ講スル
コトトナリ支那側及在留民側ノ防疫措施トシテ同仁會診療班及防疫
班ノ協力ナクシテハ實行不可能ナルニ付至急右派遣方御配慮相成度
シ
尙使用家屋トシテ從來物色中ナリシモ軍側ニ於テ夫々斡旋スルコト
トナリ居リ右興亞院及同仁會ニ御傳達ノ上實現方御配慮ヲ請フ

外務省

(日本標準規格B5)

H-0250

0232

電 信 案

外 務 省

側ニ聯絡スヘキ旨指圖シタル趣ニ付右御了
 知ノ上現地軍側トモ聯絡ノ上適宜處置
 アリ度ニ
 上海へ轉電セリ

(原議用紙乙)

文化事業費 (分類 62)

14.2.14

同仁會ヨリ現地ニ於テ
 状況ヲ報告セラルル事
 不詳ヲ起スル事

電 信 案

電 信 課 長

電 信 課 發 電 係

主 管 文 化 事 業 部 長

主 任 第 一 課 長

昭 和 四 年 二 月 九 日 起 草

電 送 第 2998 號

昭 和 四 年 二 月 九 日 時 30 分 發

宛 在 北 京 堀 内 參 事 官

件 對 支 防 疫 事 務 細 則 亞 院 移 送 官 ニ 關 ス ル 件

第 104 號

發 有 田 大 臣

名 件 錄 記

外 務 省

43

H-0250

0233

文化事業費

(分類)

62

14.2.14

電 信 案	有田大臣 發在北京堀内参事官宛電報第104號	電送第 2999 號	管主 文化事業部長
		昭和 14 年 2 月 9 日 時 30 分發	主任 第一課長
外 務 省	有田大臣 發在北京堀内参事官宛電報第104號	宛 在上海 三浦總領事	發 有田大臣
		第 〇〇〇 號	名件録記

電信課長

發電係

昭和十四年二月八日起草

2

44



昭和14 二九九八

暗 本省二月九日後發

文化

在北京 堀内参事官

有田大臣

對支防疫事業興亞院移管ニ關スル件

第一四四號

貴電第一二五號ニ關シ

同仁會本部ヨリ現地防疫班ニ對シ軍側ニ聯絡スヘキ旨指圖シタル趣ニ付右御了知ノ上現地軍側トモ聯絡ノ上適宜處置アリ度シ

上海へ轉電セリ

外務省

(日本標準規格B5)

H-0250

0234

秘

ま

電信寫

第一課長

米内山領事

昭和14 三二一八 附 北京 二月三日 午後 三日 夜 發

文化、電、海

有田外務大臣

米内參事官

第一二五號

客月十八日附文化一發密合第五〇ノ號貴信ニ歸シ

當地ニハ未タ貴信中ニ謂フ與皇院現地被論設置セラレ居ラサル處貴
信ノ聯絡方トハ一應車側へ引續クトノ意ナリヤ又ハ聯絡部設置ヲ待
ツテ處理スル意ナリヤ當方事務處理ノ都合モアリ何分ノ儀御同電ア
リ度シ

上海へ轉電セリ

H-0250

0235

寫

昭和14 四一六〇 暗 北京 二月十三日後發 文化、亞、調
本省 十三日夜着

有田外務大臣 堀内參事官

第一六八號

往電第一二五號竝ニ貴電第一〇四號ニ關シ（對支防疫事業興亞院移
管ニ關スル件）

北支防疫班及軍側ニ照會セルモ興亞院現地聯絡機關トシテ軍側ニ聯
絡スヘキ旨中央ヨリ指令ヲ受ケ居ラサル趣ノ處右防疫班ヲ含ム現地
文化諸機關ノ移管方ニ付テハ興亞院出先機關タルヘキ聯絡未成立ニ
テ引繼クヘキ相手方ナク一方軍側トシテモ之カ引繼ニ應スル色ナク
從テ前記聯絡部ノ設置ヲ見ル迄ハ當館及軍側ニ於テハ原則トシテ從
來通り措置スルヨリ外ナキニ付（軍側トモ打合濟）右御含置キアリ
タク尙當館ニ於ケル實際上ノ手續トシテハ差當リ左ノ如ク取計フヘ

外務省

(日本標準規格B5)

キニ付御承認ヲ乞フ

一、興亞院移管ニ關スル指令書ハ御來示ノ通り夫々引繼ノ日附ヲ以テ
之ヲ發出ス

二、從來各助成團體ヨリ當館經由外務大臣宛提出シ居ル書類ハ自今原
則トシテ興亞院總裁宛トシ（當分ノ間外務大臣宛寫一部添附）當
館ヨリ本省經由興亞院ニ移牒スルコト

但シ近代科學圖書館及河北産研ノ如ク引繼ニ際シ特ニ經理事務ヲ
除外シ居ルモノハ經理事務ニ關スル書類ハ從來通り外務大臣宛（
興亞院ヘハ寫送付）トシ其ノ他ノモノハ興亞院總裁宛（外務大臣
ヘハ寫送付）トスルコト

三、同學會語學校及文化協議會ノ如ク未タ正式引繼ヲ了セサルモノニ
ハ全然從來同様ノ取扱ヲ爲スコト

上海へ轉電セリ

外務省

(日本標準規格B5)

H-0250

0236

發信用 執務用		14.2.21		會計課長		米内山領事	
主信	甲						
附	乙						
屬	丙						
	丁						
備考	62						
文書課長	文書課發送 昭和十四年貳月廿日發送済 主 第一課長 任 第一課長 昭 和十四年二月二十日						
主 文化事業部長	文化一普通部 第一一七號 昭 融和拾四年貳月廿參日附 附屬						
受 信 人	柳川興亞院總務長官						
名 件	防疫事業經理關係書類送付ノ件						
名 人 信 發	澤田外務次官						
名 件 録 記	當省文化事業部ヨリ貴院ニ移管セラレタル 防疫事業ニ對スル昭和十三年度經理關係 書類別冊御奉送其送付ス						
公 信 案	(別冊其儘送付ノクト)						
外	務以上省						

H-0250

0237

電信課長

大臣

次官

澤田

東亞

歐洲

米商

通商

條約

情報

文化

調査

人事

儀典

會計

會社

秘書官

寫送先

14.3.30

大西

昭和14 三二〇四 略

漢口 二月四日前發
本省 四日後着

文化、亞

有田外務大臣

花輪總領事

第七〇號

今般武昌ニ於ケル防疫ノ爲軍民ヲ一丸トシタル防疫委員會ヲ組織シ
市内ノ清掃、清潔法ノ實施、菌保有者ノ檢索、豫防注射、船舶ノ檢
疫、防疫材料及消毒材料ノ準備等防疫ニ關スル徹底的措置ヲ講スル
コトトナリタルニ付テハ支那側及在留民側ノ防疫措置トシテ同仁會
診療班及防疫班ヲ當地ニ進出セシメサルニ於テハ實行不可能ナルニ
付至急右派遣方御配慮相成度シ
尙使用家屋トシテ從來物色中ナリシモ軍側ニ於テ夫々斡旋シ吳ルル

外務省

コトトナリ居リ右興亞院及同仁會ニ御傳達ノ上實現方御配慮ヲ請フ
上海へ轉電セリ
上海ヨリ杭州へ轉電アリタシ

外務省

H-0250

0230